



### わたしたちの身近な文化財

### 鈴木遺跡から見つかった黒曜石

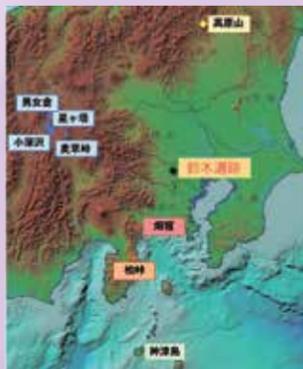
鈴木遺跡から見つかった旧石器時代の石器の中には、黒っぽくてすきとおった石でできたものがたくさんあります。これは黒曜石と呼ばれる石で、火山の地下にある溶岩(マグマ)が急に冷やされたときにできる自然のガラスです。現在ビンや窓などに使われているガラスと同じように、割れ口が鋭いので、大昔から物を切ったり削ったり、獲物に突き刺したりする石器の材料として使われてきました。

日本は火山の多い国で、黒曜石はいろいろな場所で見つかりますが、鈴木遺跡の近くには火山がないため、鈴木遺跡の近くでは手に入れることができません。

それでは鈴木遺跡の黒曜石はどこから来たのでしょうか。窓などに使われるガラスはふつう透明ですが、黒曜石は、それができた時に周りにある他のものを不純物として巻き込んだために黒っぽくなっています。産地によっては茶色っぽかったり緑色をしたものもあります。

蛍光X線分析という方法で、黒曜石に含まれる不純物の割合を調べることで、それができた場所を知ることができます。

鈴木遺跡出土の石器1,560点ほどをこの方法で分析したところ、現在の長野県八ヶ岳山麓や静岡県神奈川県の伊豆、箱根地域、栃木県日光山地の高原山、そして東京都伊豆諸島の神津島など遠く離れた産地から運ばれてきたことがわかりました。



〈黒曜石の産地〉

分析の結果を見ると、鈴木遺跡でも古い方の地層から見つかる黒曜石には、神津島産のものが多く見られますが、じきに見られなくなり、次第に伊豆、箱根産のものが増え、その後八ヶ岳山麓のものが増えていきます。ところが、旧石器時代の終わりごろになると再び神津島産のものが見られるようになります。鈴木遺跡に人々が繰り返し訪れていた旧石器時代を通じて、その産地も移り変わっていたということがわかりました。

なぜこのような移り変わりがあるのかについては、はっきりしたことはわかっていません。

縄文時代になると産地で地面に穴を掘って手に入れるようになるのですが、旧石器時代の人たちは地上に転がっている黒曜石の塊(原石)を拾い集めていたと考えられることから、次第に手に入りやすくなって、他の産地を探していったのかもしれませんが。

鈴木遺跡で4万点以上見つかった石器やそのかけらのうち、6割ほどにあたる2万数千点が黒曜石で作られたものですが、これは鈴木遺跡の周りの同じ時代の遺跡に比べると飛びぬけて多く、鈴木遺跡が黒曜石を手に入れたり、みんなで分けたりする仕組みの中で中心的な役割をはたしていたためと考えられています。

10人ほどのグループで獲物を追い求めながら各地を転々と移動していたとされる旧石器時代の人たちが、移動の途中で黒曜石の産地を通るようにして、この貴重な石材を補給していたとの説もありますが、シー・カヤックのような小舟で海を渡って移動するルートはあまりにも危険です。むしろ中心的な役割を果たしていたと考えられる鈴木遺跡の場所に集まった複数のグループの中から、黒曜石を取りに行った経験のある年上の人と若者が組になって産地まで取りに行き、戻って来ると、この貴重な石材をみんなで分け合っていたのかもしれませんが。鈴木遺跡からは、つなぎ合わせると元の原石の形が想像できる接合資料と呼ばれる黒曜石の塊も見つかっています。

黒曜石のような貴重な石材は、取って来るだけでなく、加工して目的の形の石器にするのにも、技術や経験が必要でした。当時どのような言葉が話されていたかはわかりませんが、先輩が後輩へ教えることで、その技術は伝わっていったことでしょう。

鈴木遺跡資料館では、石器作りの文化財体験講座を開催しています。今年も多くの小・中学生が黒曜石を使ったナイフ形石器づくりに挑戦し、石器づくりの先生の指導を受けて思い思いの形の石器を作りました。

皆さんも、鈴木遺跡資料館で大昔の人たちが先輩から教わりながら作ってきたたくさんの石器を見て、当時の生活を想像してみてください。

小学生、中学生に読んでもらいたい記事をのせています。読めない字があったら、おうちのの人に教えてもらってね。



〈黒曜石の原石〉

〈黒曜石の尖頭器〉

## 小・中学生が 広島平和記念式典に 出席しました

8月5日(金)から6日(土)の1泊2日で小・中学生広島平和学習を行いました。

市内の小学生1人・中学生9人が広島を訪問して平和記念式典に出席し、原爆ドームなどを見学することで、戦争の悲惨さ、平和の意義について考えました。

また、8月20日(土)に行われた、被爆体験者に経験談を語



原爆の子の像

っていただく講演会の中で、子どもたちが広島平和学習の報告を行いました。  
(地域学習支援課)



原爆ドーム



小平市 平櫛田中彫刻美術館  
KODAIRA HIRAKUSHI DENCHU ART MUSEUM

## 小平市制施行60周年事業

### 【特別展 生誕150年 平櫛田中展】

今年は平櫛田中が生まれてから150年の節目の年です。それを記念して、全国各地の美術館や博物館に所蔵されている平櫛田中の作品を集め、各時代の代表作とともに田中の功績を紹介します。

と き 9月17日(土)から11月27日(日)まで

### 【特別展記念トークイベント】

写真資料とともに、田中の孫である平櫛弘子館長が家族からみた田中の素顔やエピソードをお話しします。

と き 9月17日(土)午後1時30分から午後3時まで

ところ 放送大学東京多摩学習センター

定員 86名

申込み 9月17日(土)午前10時より美術館受付にて整理券を配布(先着順)

### 【秋のお茶会】

記念館の庭園にて、野点による気軽なお茶会を開催します。美しい庭園とお楽しみください。

と き 9月23日(金・祝)から25日(日)まで

ところ 平櫛田中彫刻美術館記念館庭園

費用 一席300円(別途観覧券の購入が必要)

※感染症対策を行った上での開催となりますが、状況によってはイベントの内容の変更や中止する場合があります。詳しくは美術館のホームページをご覧ください。

### 【わくわく体験美術館ウィーク】

期間中、小・中学生は無料でご覧いただけます。クイズで平櫛田中や美術館のことを知ろう!

と き 10月22日(土)から11月3日(木・祝)まで

開館時間 午前10時から午後4時まで ※なるべく、午後3時30分までに入館してください。  
休館日 火曜日(祝日、または振替休日)に当たる場合は開館し、翌日休館  
観覧料 一般…1,000円(800円)、小・中学生…500円(400円)  
わくわく体験美術館の期間中は小・中学生無料  
※カッコ内は、団体20人以上です。  
※駐車場をご利用の方はご相談ください。  
問合せ 平櫛田中彫刻美術館 ☎042(341)0098



平櫛田中作《幼児狗張子》  
明治44年  
井原市立田中美術館所蔵